

神奈川県内の主要河川における有機フッ素化合物調査結果

県環境科学センターは、平成 19 年度及び平成 20 年度に県内の主要 17 河川において有機フッ素化合物の概況調査を行っています。当時は暫定指針値の 50ng/L（令和 2 年 5 月設定）を超える地点が多く存在していましたが、平成 29 年度及び平成 30 年度の調査では引地川のみでした。平成 22 年から PFOS の製造・輸入が原則禁止されたことの影響が考えられます。

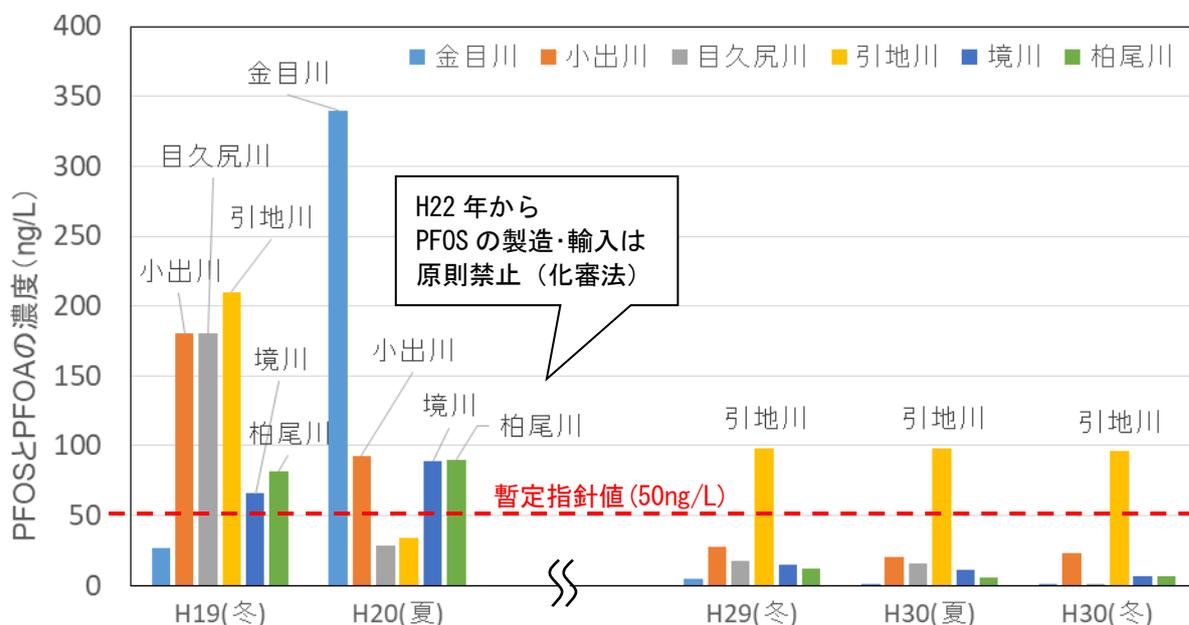


図 1 県内主要河川における有機フッ素化合物濃度の推移 (抜粋)

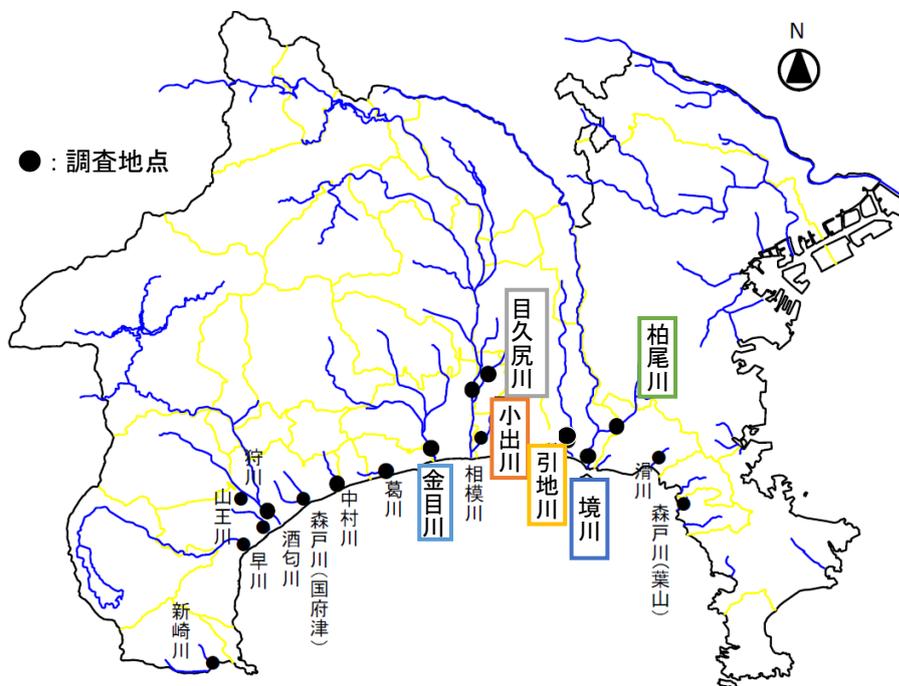


図 2 調査対象の主要 17 河川及び調査地点

(出典)

- ・ 神奈川県環境科学センター研究報告 No. 39 (2016)
p11~18 「神奈川県内の河川における有機フッ素化合物の実態」
- ・ 相模湾漂着マイクロプラスチック (MP) の実態とその由来の推定<中間報告書> (2019)
p56~58 「4.5 河川水等における有機フッ素化合物の実態」